

8/23(金)～24(土) 日本PTA全国研究大会 川崎大会 に行ってきました！

去る8月23日(金)～24日(土)に、神奈川県川崎市で第72回日本PTA全国研究大会が開催されました。『ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう「縁」の力～』のスローガンのもと、参加者が同じ学びを深められるよう、会期の2日間全てのプログラムが同一会場で執り行われました。

【1日目】 社会教育や教育・不登校 におけるウェルビーイング

フリースペースたまり場理事長の西野 博之先生の講演では、自己肯定感を育む居場所づくりや長いスパンで見た将来的な「社会的自立」を目指すことの大切さを学びました。

トーキョーコーヒー代表の吉田 タクシ先生からは、数値では表せない非認知力の大切さや、「問題は子どもの不登校ではなく、大人の無理解にある」という視点から教育を考えることの大切さを学び、気づき・感動・想いなどを会場の全ての参加者がグループでシェアしました。

【2日目】 ウェルビーイングを社会に広げるために(PTAでの実践ほか)

教育評論家の親野 智可等先生の講演では、子どもの自己肯定感を伸ばすための褒め方のコツや親子関係の大切さを学びました。

その後、実践事例として全国のPTAにおける先導的な取組の紹介があり、人の幸せに関する研究をされている前野 マドカ先生の講演で、社会にウェルビーイングを広げることの大切さを学び、2日間の学びの振り返りとともに、参加者それぞれが今後の目標となる「個人宣言」を行い、大会を締めくくりました。

今回の研究大会のテーマ「ウェルビーイング」は、子育てやPTAの活動に留まらず、今の社会で生きる私たち(大人だけでなく子どもたちにも)に必要な気づきや救いを与えてくれました。

また、大会では参加者同士が交流し、主体的に学ぶことができるよう工夫が凝らされ、多くの出会いと深い学びを得ることができました。

今回の大会には、山口県から総勢34名が参加しています。参加された皆さんが、それぞれの学校や地域で今回の学びを日々の活動に取り入れることにより、山口県のPTAや学校などの組織が、そしてそこでの教育活動や子育てに係る取組が、さらに魅力的なものになることを期待しています。

